

関市留守家庭児童教室（4教室）運営業務委託 プロポーザル審査要領

（趣旨）

第1条 この要領は、関市留守家庭児童教室（4教室）運営業務委託における受託候補者を選定するためのプロポーザル審査方法について必要な事項を定めるものとする。

（審査の方法）

第2条 受託候補者選定の審査方法は、次に掲げるとおりとする。

（1） 審査委員

審査委員は、関市留守家庭児童教室（4教室）委託業務プロポーザル審査委員会設置要綱の定めるところによる。

（2） 企画提案に関する審査

審査項目及び配点は、別紙1「評価点及び審査項目」のとおりとする。

（3） 審査の対象

審査の対象は、企画提案者からの提案書等の関係書類、プレゼンテーション、ヒアリング等とする。

（4） 受託候補者の選定方法

別紙2「プロポーザル審査表」による各審査委員の採点を合計し、総得点が最も高かった者を受託候補者として選定する。

（5） 複数の同得点者が生じた場合

複数の同得点者が生じた場合は、各審査委員の協議によって順位を決定する。

（6） 最低基準点

満点の6割を最低基準点とし、総得点が最低基準点を満たさない企画提案者は、受託候補者の対象としない。

（7） 企画提案者が1者の場合の取扱い

企画提案者が1者のみであった場合でも、審査委員会を実施し、審査の結果、最低基準点を満たしていれば、受託候補者として選定する。

（その他）

第3条 この要領に定めるもののほか、審査委員会の運営に関し必要な事項は、その都度協議の上、決定する。

評価点及び審査項目

審査は次の表のとおり 5 段階による評価とし、それらの評価点に各審査項目の換算値を乗じて得た値を合計して採点する。

【評価点】

とても優れている	5
優れている	4
普通	3
やや劣っている	2
劣っている	1

【審査項目】

審査項目	評価内容	換算値
①企業理念	児童福祉や教育に関する基本的な考え方は適切か 具体的かつ実現可能な運営方針か 留守家庭児童教室をより発展・向上させることが期待できるか	2
②経営状況	経営母体の財務状況は健全か（3年間継続した請負の可能性）	1
③業務実績	過去の運営実績（規模や経験年数）から、経験豊富な事業所であると判断できるか	1
④危機管理体制	緊急時（災害発生時含む）の連絡体制は適切か 教室内の事故、トラブル等発生時の処理体制は適切か 感染症発生時の予防策及び人員体制（バックアップ体制）は適切か 業務従事者の健康管理体制は適切か	4
⑤教室運営	児童・保護者に対するサービスは魅力的で具体的な提案か 現状を踏まえ、より専門的で高いサービス水準となるか 放課後子ども教室との連携が図れる仕組みが提案できているか	4
⑥従事者の資質向上、雇用等	教育、研修により職員の資質を向上する体制をとっているか 安定して継続的に職員を配置できるか 地元採用計画は適切か	4
⑦要支援児童	一定の支援が必要な児童についての知識を有し、児童が安心して利用できる環境が整備できるか	3
⑧見積金額	提案に対する価格の妥当性	1

プロポーザル審査表

企画提案者	
-------	--

審査（採点）者：_____

審査項目	評価内容	評価点 (A)	換算値 (B)	合計値 (A×B)
①企業理念	児童福祉や教育に関する基本的な考え方は適切か 具体的かつ実現可能な運営方針か 留守家庭児童教室をより発展・向上させることが期待できるか		2	
②経営状況	経営母体の財務状況は健全か（3年間継続した請負の可能性）		1	
③業務実績	過去の運営実績（規模や経験年数）から、経験豊富な事業所であると判断できるか		1	
④危機管理体制	緊急時（災害発生時含む）の連絡体制は適切か 教室内の事故、トラブル等発生時の処理体制は適切か 感染症発生時の予防策及び人員体制（バックアップ体制）は適切か 業務従事者の健康管理体制は適切か		4	
⑤教室運営	児童・保護者に対するサービスは魅力的で具体的な提案か 現状を踏まえ、より専門的で高いサービス水準となるか 放課後子ども教室との連携が図れる仕組みが提案できているか		4	
⑥従事者の 資質向上、雇 用等	教育、研修により職員の資質を向上する体制をとっているか 安定して継続的に職員を配置できるか 地元採用計画は適切か		4	
⑦要支援児 童	一定の支援が必要な児童についての知識を有し、児童が安心して利用できる環境が整備できるか		3	
⑧見積金額	提案に対する価格の妥当性		1	
	総 得 点			

【評価点】

とても優れている	5
優れている	4
普通	3
やや劣っている	2
劣っている	1